

平和のねがい あったか看護師さん



ふじさく
芙美子

日本共産党

城里町支部福祉対策部長

ふじさく芙美子プロフィール ●1952年福島県富岡町生まれ ●1971年福島県立富岡高校卒 ●1974年茨城県土浦医師会附属准看護学院卒 ●1978年茨城県立看護専門学校卒 ●1975年水戸協同病院勤務 ●1984年水戸済生会総合病院看護部勤務 ●2008年石島整形外科病院勤務 ●家族／夫 ●趣味／ハイキング・映画鑑賞

2013年号外 日本共産党の見解をお知らせします。

発行：日本共産党城里町後援会

〒311-4302 城里町那珂西1546-3 TEL・FAX. 029-288-7648

新しさと



とりくみます

- 町民の声を町政に届けます
- 議会の様子をお知らせします
- 子どもの内部被ばく検査の実施を求めます
- 高齢者の通院の利便性をはかります
- 健康診査の拡充に努めます
- 東海第二原発の廃炉を求めます

藤咲芙美子さんを 推薦します

茨城県視覚障害者の
生活と権利を守る会事務局長

元教員(那珂西在住) 浅見 清

私は一昨年、町議会へ東海第二原発の廃炉を求める意見書採択に関する陳情書を提出しました。残念ながら当時は採択されませんでした。ふじさくさんの福島の実家は現在も高い放射線濃度で住むことができず、親戚の方々は今もばらばらの生活を強いられています。ふじさくさんは大震災の前から脱原発や町内の施設を会場に原爆写真展を開催するなど、平和を願う活動をしています。今後も町民の暮らし・福祉向上のため活躍を期待し推薦します。



後援会入会
申込書

おなまえ

おところ

母のおしえ

福島県富岡町に生まれた
芙美子さんは、四人兄弟の
末っ子として母の手一つで育
てられました。父は3歳の時亡くなりま
した。いくら働いても貧しいなか、母の
明るさが救いでした。友達のように、買
い食いほできませんが、まっすぐなひた
むきさは、母の教えでもありました。



戦争はいや

水戸にきて看護学校に入った芙美子
さんは、父の死や母の苦勞の根源に戦争
があったことから、戦争は嫌だという思
いを強め、戦前から戦争反対を主張して
きた日本共産党に入党しました。



奉仕のこころ

女性でも仕事を持って働くこ
とを母から学んだ芙美子さんは、
どうしても大好きな人間と接し
た仕事をしたいと、働きながら
准看護師を目指しました。その
後、さらに看護師をめざし勉強
をつづけました。



二児の母とって

看護師40年。水戸市の総合病院で24年、三交代
勤務を続けてきました。結婚して二児をもうけた
芙美子さんは、子育てをしながら仕事をこなしま
した。病院退職時に患者さんや同僚からもらった
手紙は、今でも芙美子さんの宝物です。



原発避難 いまでも

故郷の富岡町は福島第一原発
事故のため、肉親は今も避難中
です。幼い子供たちは両親と別居せ
ざるを得ません。芙美子さんは城
里でこつこつとすることがあつてはなら
ないと、東海第二原発の廃炉を求
める請願を町議会に提出。全全三
致で採択されました。また、夏に
は女性団体のメンバーとして平
和パネル展を開き、戦争は嫌とい
う願いを多くの人に、と活動して
います。



人が好き

だれもがしあわせになれ
るってほしい

いま、消費税増税、介護保険、秘密
保護法など、くらしや平和が脅かさ
れる動きが急です。人が大好きな
芙美子さんは、だれもがしあわせに
なつて当たり前なのに、この動きは見
過ごせないと思つています。党創立
以来、平和、主権在民を主張してき
た日本共産党の一員として、元議員
の藤咲徳治の後を継ぎ、「なんとか
がんばりたい」と気持ちをあらたに
しています。



まっすぐ ひたむきに 人が好き

日本共産党 ぶじさく芙美子

だれもがしあわせになれる町へ